

はじめに

岡山県では、がん（悪性新生物）による死亡者数は増加傾向にあり、平成24年には全死亡者数の3割弱となる5,616人ががんで亡くなりました。がんは長年に渡り死亡原因の第1位であり、がん対策は県民の生命と健康を考えるうえでの大きな課題となっています。

このため本県では、がんの罹患や受療、生存率に関する動向等の把握と解析評価を行い、がん対策の推進に資することを目的に、平成4年に「岡山県がん登録事業」を開始しました。現在は、県がん診療連携拠点病院である岡山大学病院に委託しており、関係機関の協力を得ながら、精度の高いがん登録を実施しています。

平成19年4月に施行されたがん対策基本法において、「国及び地方公共団体は、がん患者のがんの罹患、転帰その他の状況を把握し、分析するための取組を支援するために必要な施策を講ずるものとする。」とされ、また、平成25年12月に公布されたがん登録等の推進に関する法律では、国の一元的な管理のもと、がん登録情報を収集する全国がん登録を実施することが定められました。これにより、がん登録は、法律上明確に位置付けられることとなり、国や地方公共団体、関係医療機関が一丸となってこれを推進する体制が整えられました。

この報告書は、岡山県がん登録事業により得られた、平成22（2010）年1月から12月までの罹患状況などについて集計と分析を行ったものです。また、9部位のがんについて、登録罹患患者の「5年相対生存率」のデータ（平成20年1月から12月までにがんと診断された者）も掲載しています。

本書が、がん予防、医療活動の評価や疫学研究など、関係各方面の方々によって幅広く活用され、がん対策推進の一助となれば幸いです。

最後に、本書の取りまとめに当たり、多大な御協力をいただきました岡山大学病院をはじめ、各医療機関、医師会ならびに関係各位に厚く御礼申し上げますとともに、継続的なデータの蓄積によって、本事業がさらに充実したものとなりますよう、一層の御理解と御協力をお願いいたします。

平成26年3月

岡山県保健福祉部長
伯野 春彦